

| | |
|-------|------------|
| 指導教員名 | 関 和俊、山本 隼年 |
|-------|------------|

| | | | |
|------|---------|-----|----|
| 活動区分 | イベント企画型 | 連携先 | 企業 |
| | | | |

～ フロラグビー選手のスポーツパフォーマンス能力と勝負!! 対決：フロラグビー選手 vs. あなた ～

活動の様子



イベントの様子①:受付



イベントの様子②:柔軟性測定



イベントの様子③:投球スピード測定

企画・活動概要

フロラグビー選手のスポーツパフォーマンス能力を身近に感じていただくイベントとして、フロラグビー選手とラグビー観戦者の体力の比較を行った。フロラグビー試合当日、イベントブースに体力測定場所を設置、観戦者に体力測定を実施し、フロラグビー選手との比較を実施した(2日間(2024年12月22日、2025年2月9日))。



イベントの様子④:測定結果のフィードバック

経緯・背景・目的

本学は、2023年度よりNTTDコモレッドハリケーンズ大阪と連携協定を締結している。その連携協定の一環として、ホームゲームで催されているイベントの1つとして、試合観戦者の体力測定会を実施した。体力測定の項目は、握力、長座体前屈、反応時間、立ち幅跳び、ラグビーボールの投球スピードとした。また、試合観戦者の体力測定を行うだけではなく、フロラグビー選手と比較することで、選手をより身近に感じてもらうイベントを実施した。



イベントの様子⑤:測定会の全体の様子

取り組む課題

- ①人間健康学科で学んだ体力測定の測定・評価
- ②コミュニケーション技法の実践演習
- ③イベントの計画立案・運営



イベントの様子⑥:受付

本学(学生)の役割

- ①フロラグビー選手の体力測定・データ入力・ランキング表の作成
- ②試合当日の体力測定ブースの設置・片付け
- ③試合観戦者(年齢問わず)の体力測定・評価



イベント準備①:投球スピード計測方法の確認

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

- ①体力測定に関する指導を通して、他者への声のかけ方や間の取り方などの指導能力
- ②幅広い年齢層やグループ参加者など様々なケースがあり、臨機応変に対応するコミュニケーション能力
- ③測定会を円滑に進めるためにも、運営(学生自身)側の連携が必要となり、学生同士の協調性などが向上した。



イベント準備②:担当場所の確認

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

人間社会学部
人間健康学科
教授 関 和俊(セキ カストシ)
准教授 山本 隼年(ヤマモト ハヤト)

<専門・担当科目等>
専門:運動生理学、トレーニング科学
担当科目:健康運動科学理論・実習、トレーニング科学理論・実習

<関係者・企業等>

レッドハリケーンズ大阪

大阪府大阪市をホストエリアとしてJAPAN RUGBY LEAGUE ONEに所属しているラグビーチーム